

上越教育大学附属中学校

(様式 4-2 : 令和 3 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称： 明治の上越は、どこに鉄道を引くべきか～室孝次郎の信越線敷設から考える～					
2. テーマ： 交通を通じて自分たちの住む地域やふるさとについて考える学習					
3. 実施教科： 社会科 (中学 2 年)					
4. 関連単元： 歴史的分野 C (1) 「近代の日本と世界」 (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成					
5. 実施単元数： 全 5 時間					
6. 学年	2 学年	7. クラス数	3 クラス	8. 生徒数	106 名
9. 実施内容 【ねらい】 本単元では、信越線敷設の時期、背景、影響に着目し、国民生活の変化を理解し、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、身近な地域の歴史について、主体的に追究しようとすることをねらいとする。 【学習の背景】 身近な地域である上越は日本で初めて長距離鉄道が開通した地域である。教科書 (東京書籍) 182 頁には「鉄道では、1889 年に官営の東海道新幹線が全線開通しました」とある。これに対して、7 か月早く、上越の直江津から東京の上野間の信越線が開通している。鉄道敷設に情熱を燃やした上越出身の室孝次郎の働きもあり、信越線が開通し、上越から東京までを 1 日で行けるようになった。 【学習の概略】 ・明治時代の様子を示した資料や室孝次郎の年表や石碑を見て、なぜ、室孝次郎の功績が讃えられているのかを考える。直江津・新井間の鉄橋の写真や室の書状や信越鉄道会社の出資者名簿や室孝次郎の業績を確認し、鉄道を開通する際に、政府や市民がどのような意見をもっていたのかを考察する。 ・明治時代に上越のどこに鉄道を引くかを Google Earth を見ながら考え、白地図上に線を引く。その場所に線を引いた理由と、室孝次郎の立場で政府や市民を説得する言葉を考え、発表する。 ・鉄道が開通した地である直江津で S L 乗車体験や鉄道に関する体験を行うことで明治の近代化の背景や影響を捉える。					

10. 学習のながれ：

【第1時】 別紙1写真、別紙2授業で使用したスライド一覧参照

- ・日本で最初に長距離鉄道が開通したのはどこかというクイズを提示し、身近な地域の鉄道敷設に関心をもった。
- ・明治時代の様子を示した資料や室孝次郎の年表や石碑を見て、なぜ、室孝次郎の業績が讃えられているのかを考えた。
- ・直江津・新井間の鉄橋の写真や室の書状や信越鉄道会社の出資者名簿や室孝次郎の業績を確認し、鉄道を開通する際に、政府や市民がどのような意見をもっていたのかを考察した。

【第2時】 別紙3写真、別紙4ワークシート、別紙5生徒の記述参照

- ・明治時代に上越のどこに鉄道を引くかを Google Earth を見ながら考え、白地図上に線を引く。その場所に線を引いた理由と、室孝次郎の立場で政府や市民を説得する言葉を考え、発表した。
- ・江戸時代7泊8日もかかっていた上越・東京間が12時間となったこと、石油精製工場の建設、赤倉温泉の観光客の増加、製糸業の隆盛といったことを知り、鉄道の開通が、上越に与えた影響を明治の北国街道や加賀街道の宿場町の様子と比較し、考察した。

【3～4時間目】 別紙6実施計画、別紙7授業後の生徒の感想参照

- ・直江津D51 レールパークに行き、明治時代の上越の鉄道の歴史について調べ、まとめた。
- ・上越の鉄道建設に関して、背景と影響についてまとめた。

【期待した成果について】

- ・明治時代の信越線の敷設に関わる社会の様子を取り上げる学習により、身近な地域の歴史について主体的に追究しようとする態度を育成する。
以下、抽出クラスの授業アンケート（表1・2）である。

表1 授業実施前のアンケート 2021年11月22日, n=36人

上越地方の歴史や文化に関する課題は「自分自身が解決すべき問題である」といえるか

とてもそう思う 14% (5人)	そう思う 67% (24人)	あまり思わない 19% (7人)	思わない 0% (0人)
---------------------	-------------------	---------------------	-----------------

表2 授業実施後のアンケート 2021年11月30日, n=36人

上越地方の歴史や文化に関する課題は「自分自身が解決すべき問題である」といえるか

とてもそう思う 30% (11人)	そう思う 67% (24人)	あまり思わない 3% (1人)	思わない 0% (0人)
----------------------	-------------------	--------------------	-----------------

- ・メディア等にプレスリリースを行い、モビリティ・マネジメントを中学校の学習で取り上げる意義を積極的に発信する。
別紙8プレスリリース、別紙9新聞記事参照。
- ・学会や研究会で研究発表し、モビリティ・マネジメント教育に関する積極的な発信と新たな課題の抽出を行う。
今後、実施する予定。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。



11月 22日 曜日

1/22 室孝次郎の功績から明治時代を知ろう

信越本線の開通に尽力

日本で最初の長距離鉄道

直江津-上野

1 市民や政府の意見は?

政府:作るのに(金)と時間が
必要

市民:田んぼをつがせないと
ほい



政府:便利になるからよい

市民:乗る人がたくさんいることを
厭(いや)にしてほしい

市民:自分の土地地ないところへ

市民:自分の家の近く

速く遠くへ行ける

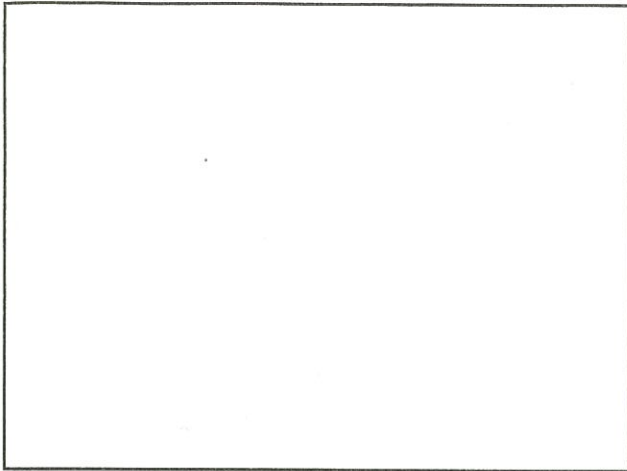
政府:交通の便がよくなる

市民:労働力が必要

何でこんな場所にするのか

江戸へ高田 7泊8日
上野へ高田 12時間

2 あなたが室孝次郎なら
どのルートを通るか
Google Earthを画面収録



日本で最初に鉄道が引かれたのは？

新橋－横浜間

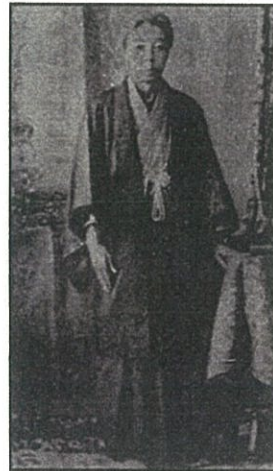
日本で最初に長距離鉄道が引かれたのは？

直江津－上野間

信越本線



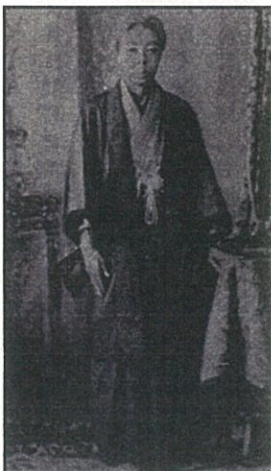
これは何の石碑かを
知っていますか？



室孝次郎

1839～1903

は信越本線
の開通に
尽力した
人物。



室孝次郎

1839～1903
の功績を讃えて、
記念碑が建てら
れた。

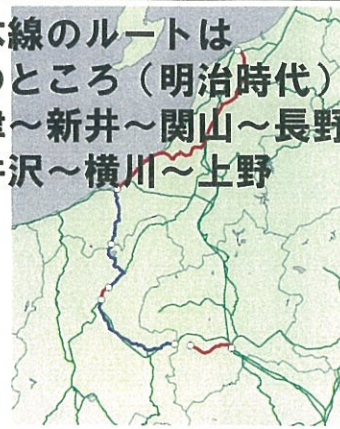
その功績とは？

信越本線を引くとき
に政府や市民はどの
ような意見をもっ
ていたのだろう？

明治の上越は どこに鉄道を 引くべきか？

仙田健一

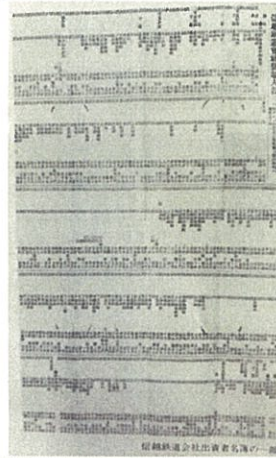
信越本線のルートは
青色のところ（明治時代）
直江津～新井～関山～長野～上田
～軽井沢～横川～上野



100km

あなたが室孝次郎なら、どこを信越本線のルートにしますか？

- ① 画面収録でルートを記録する。
- ② そのルートを活用し、信越本線が通ることの良さを仲間に紹介する。

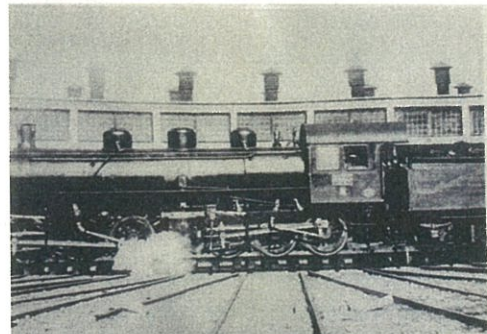


明治14年
室孝次郎を中心とする人々の努力もあって、信越本線は開通した。
株主650名
資本金137万円
×3800倍＝
52億円

あなたが室孝次郎なら、どこを信越本線のルートにしますか？

- ① 画面収録でルートを記録する。
- ② そのルートを活用し、信越本線が通ることの良さを仲間に紹介する。

信越本線が、その後の高田の発展につながっている。



▲直江津駅開通（上野～直江津間） 直江津駅は信越本線、北越鉄道（明治20年の国鉄化により信越線に編入、北越本線）の交差点に鉄道交通の要所であった。

江戸時代 高田～上野7泊8日

信越本線 高田～上野12時間



▲高田停車場（上越市・明治末期） 当時、高田・上野間の所要時間は約12時間であった。それでも7泊8日もかかった江戸時代に比べると、そのスピードは驚異的だった。

鉄道の開通が上越地方の産業・経済を一変させた。

- ・ 大規模な石油精製工場。
- ・ 赤倉温泉の観光客
- ・ 高田の製糸工業

⇒これに対して、鉄道が通らなかった、北国街道、加賀街道など江戸の交通の要所は衰退した

上越の鉄道建設の背景と影響についてまとめよう。

1/22 明治の上越はどこに鉄道を引くべきか？

1 室孝次郎 高田生抔

1839~1903年

信越本線敷設

当時

陸蒸気

とゆわいた



2 どんなルートを通るか？

上越 ~ 妙高 ~ 飯沼 ~ 長野 ~ 軽井沢 ~ 上野

上越線 直江津 ~ 妙高 ~ 小千谷 ~ 前橋 ~ 川越 ~ 上野 ~ 高崎 ~ 上野

上越 ~ 妙高 ~ 飯沼 ~ 長野 ~ 軽井沢 ~ 上野

実際

直江津 ~ 新井 ~ 関山 ~ 長野

~ 上田 ~ 軽井沢 ~ 横川 ~ 上野

株主650人 52億円

3 あなたが室孝次郎なら

近代化するよ高田が 乗って行く

すぐに東京へ行くよ

一週間が半日で、経済がよくなる 乗せてあげよう

上越地方の産業への影響
大規模な石油工業
温泉への観光客
高田の製糸工業

11月 22日 曜日



明治の上越は、どこに鉄道を引くべきか？

1 信越本線を引くときに政府や市民はどんな意見をもっていたのだろうか？

2 あなたが室孝次郎なら、どこを信越本線のルートにしますか？

【手 順】

- ① Google Earthを活用し、ルートを画面収録しよう。
 - ② 隣の人にそのルートを通ることのメリットを説明しよう。
- メリットの説明



○ 上越の鉄道建設の背景と影響についてまとめよう

.....

.....

.....

明治の上越は、どこに鉄道を引くべきか？

1 信越本線を引くときに政府や市民はどんな意見をもっていたのだろうか？

市民

どうして、こんな場所に引くの？ 乗る人がたくさんいるところ
便利になる。簡単に遠くへ行ける！ 国にしてみたい。
労働と水の両方とも、自分の土地は便利！ 家も近くが良い。

政府

お役目がある。 交通の便が良いなる
便利になる！
新しい文明が生ずる。

2 あなたが室孝次郎なら、どこを信越本線のルートにしますか？

【手順】

① Google Earthを活用し、
ルートを画面収録しよう。

② 隣の人にそのルートを通ることのメリットを説明しよう。

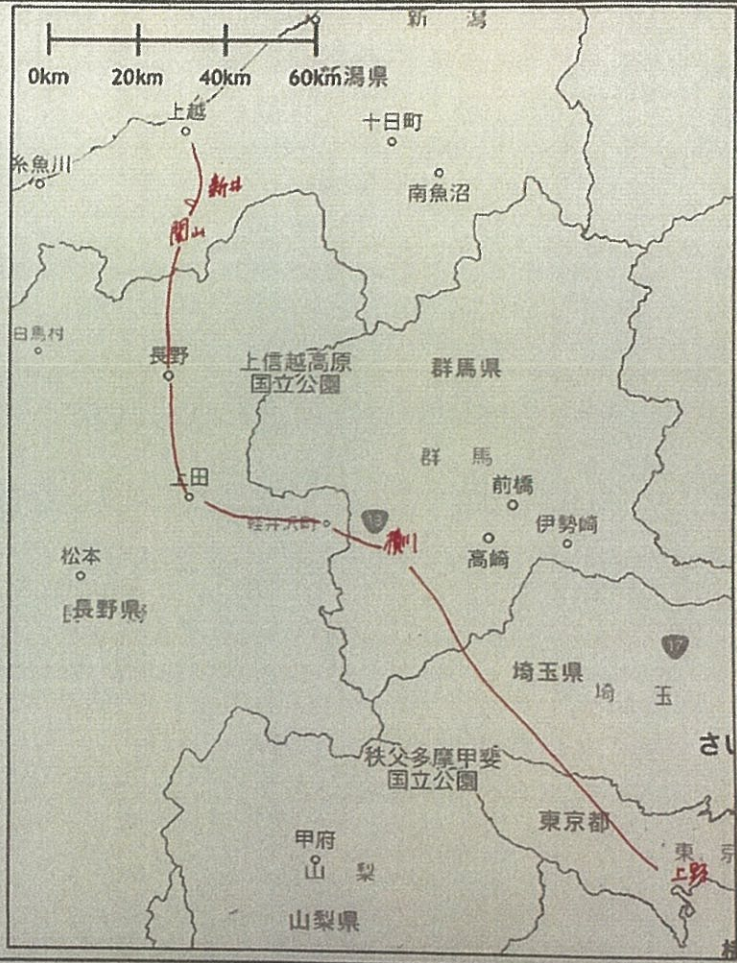
メリットの説明

なるべく開けているところ

ほうちを通る



工事の線路を引きやすい。



3 室孝次郎はどうやって説得したか？

・高田が近代化するよ

・すぐ東京へ行けるよ

・一週間で半日で

・経済が良くなる

・楽しんでいこう！ 乗せてあげるよ

・便利だよ

・生活が豊かになるよ

○ 上越の鉄道建設の背景と影響についてまとめよう

上越地方の産業への影響

今回、上越に鉄道を引くために努力した人がいたこと

大規模な石油工業

を始め知りました。鉄道ができたことで、上越が発展

温泉への観光客

するきっかけになっています。今までの文化と歴史は、ここ

高田の製糸工業

が関わっていたということが分かりました。

明治の上越は、どこに鉄道を引くべきか？

1 信越本線を引くときに政府や市民はどんな意見をもっていたのだろうか？

政府…賛成。交通が発達する。近代化につながる。

市民…反対の人もいた。田舎の地を潰す必要があるから。

2 あなたが室孝次郎なら、どこを信越本線のルートにしますか？

【手順】

① Google Earthを活用し、ルートを画面収録しよう。

② 隣の人にそのルートを通ることのメリットを説明しよう。

メリットの説明

山を掘る必要がないため、労働力が少し余裕がでる。
（金銭）

つかえている場所を通る。
（今の果樹園所在地など）

人だけでなく、牛なども比較的
楽に運べる。



○ 上越の鉄道建設の背景と影響についてまとめよう

ルート…直江津→新井→関山→長野→上田→軽井沢→木曾川→上野
 上越地方の産業への影響 大規模な石油工業、温泉への観光客
 高田の製糸工業

感想

全鉄道が上越にできたときの背景やそれがどの方に上越の産業に与える影響にしているのが分かった。

月には直江津→新井間が開通した。十九年には、レールは開

令和3年 直江津D51 レールパーク研修実施計画

社会科 仙田健一

1 ねらい

信越線敷設の時期、背景、影響に着目し、国民生活の変化を理解し、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、身近な地域の歴史について、主体的に追究しようとすることをねらいとする。

2 実施日と参加者、引率者

令和3年11月29日(月)	9:30~11:25	2年1組	35名	引率:大瀧	副校長
	9:30~11:25	2年2組	35名	引率:那須	岩舩
	10:30~12:25	2年3組	36名	引率:仙田	

3 感染拡大防止策として

- ・朝の検温を確実にし、マスクの着用の徹底する。
- ・見学する際、各自で3密にならないように意識して行動できるよう事前指導をする。

4 見学場所

直江津D51 レールパーク 〒942-0003 新潟県上越市東町1-15 025-520-5551

5 日程

9:30 (10:30)	玄関集合
9:40 (10:40)	スポーツセンター 大学バス乗車 直江津観光バス乗車
10:00 (11:00)	見学 SL 乗車体験
11:55 (11:55)	見学終了 お礼の言葉をお伝えし、バス乗車
11:15 (12:15)	スポーツセンター 大学バス降車
11:25 (12:25)	学校集合

6 学習内容

- ・日本で最初に長距離鉄道が開通したのはどこかというクイズを提示し、身近な地域の鉄道敷設に関心をもつ。
- ・直江津D51 レールパークや歴史博物館に行き、明治時代の上越の鉄道の歴史について調べ、まとめる(本時)。
- ・明治時代の様子を示した資料や室孝次郎の年表や石碑を見て、なぜ、室孝次郎の功績が讃えられているのかを考える。
- ・直江津・新井間の鉄橋の写真や室の書状や信越鉄道会社の出資者名簿や室孝次郎の業績を確認し、鉄道を開通する際に、政府や市民がどのような意見をもっていたのかを考察する。
- ・明治時代に上越のどこに鉄道を引くかをGoogle Earthを見ながら考え、白地図上に線を引く。その場所に線を引いた理由と、室孝次郎の立場で政府や市民を説得する言葉を考え、発表する。
- ・江戸時代7泊8日もかかっていた上越・東京間が12時間となったこと、石油精製工場の建設、赤倉温泉の観光客の増加、製糸業の隆盛といったことを知り、鉄道の開通が、上越に与えた影響を明治の北国街道や加賀街道の宿場町の様子と比較し、考察する。
- ・上越の鉄道建設に関して、背景と影響についてまとめる。

7 経費

- ・大学バス（ピストン送迎） 直江津観光バス 44,000 円
- ・直江津 D 51 レールパーク入場料 生徒 1 名 800 円×106 名=84,800 円 職員 1 名 900 円×5 名=4,500 円
- ※ 大学の研究助成とモビリティマネジメント財団の研究助成で支出する。

8 持ち物・服装

- ・クリップボード
- ・筆記用具
- ・ワークシート
- ・水筒
- ・iPad
- ・服装は制服
- ・パンフレット

9 その他

- ・生徒はバス内でのマナー、乗降車時の礼儀、班別研修、ガイドさんの話を聞く態度、徒歩での移動などのすべてが集団行動、ふさわしい行動として自らを律していけるように指導する。
- ・モビリティマネジメント財団の助成金で蒸気機関セット 9 個、購入する。

【感想】

初めてSLを見て明治時代の人たちは、このような大きな列車を今のような機械を使わずに作っていてすごいと思いました。また、昔に作られた電車が今走ることができていることがすごいと思えました。今日見た昔の電車から今の電車へとだんだんと便利になっていったりしていて、私もいろいろなことに対して改善点などを見つけて、改善してより良くなることができるようにしていきたいと思えました。明治時代に鉄道を作るにあたって反対の意見などもあったと思いますが、人々のことを考え諦めずに上越に鉄道を開通させた室孝次郎は、すごいと思えました。これからももっと上越のことや、上越の偉人などを調べたりして、上越にもっと興味を持ったりすることができるようになりたいです。

11/29

今日は、直江津にあるレールパークへ行きました。電車や機関車の種類はよく分からないけれど、古いものが多くありました。実際にSLを見てみると、動輪の仕組みが複雑で面白かったです。技術が発達したと言っても、今ほど高度ではなかったのに、ここまで細かいものを作れることがすごいいいました。確かに、機関車があるとその街も発展しそうだと思います。今は簡単に遠くまで行けるけれど、昔は無くて、この機関車を通すのにとても苦労したのだと感じました。今があるのは、これまで歴史を築いてくれた人々の力だと思いますので、これから私たちがその努力を繋げていけるようにしていきたいです。

今日レールパークへ行き、初めて蒸気機関車に乗りました。動いたときは本当に石炭で動くことに驚きました。昔の人たちの技術力と蒸気機関車を思いついたことに驚き、とてもすごいことだと思いました。今は電車が電気です動いているけれど、それができたのも昔の人たちが蒸気機関車を開発したおかげだと思います。私たちが普段生活している中での出来事は全て今まで人が苦勞してつくっていった文明の上になりました。

今日はレールパークについて、SLに乗った。当時の明治の人々は、新しく鉄道が動き、興味深々だったのだと思う。室孝次郎が鉄道業界を発展させてくれたから、今の鉄道があるのだと考えた。

今日は、蒸気機関車の体験に行きました。明治の技術でここまで作られたのはとても凄いなと思いました。昔ながらの魅力で、現代の電車とは違ったイースや窓があったりと、乗っていて興味があつたし、明治の人々の気持ちになりました。徐々に技術が発展し、交通の発達があつただなと感じました。

令和3年10月29日

広 報 課

令和3年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)
にかかわる学校支援制度との社会科の授業連携について

このたび標記につきまして、下記のとおり授業公開を開催いたします。

ご取材いただける場合は、お手数ですが11月26日(金)正午までに、広報課(025-521-3626)へご連絡くださいますようお願いいたします。

1. 概 要

上越教育大学附属中学校社会科部(研究代表:仙田健一教諭)は公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から助成を受け、令和3年度 モビリティ・マネジメント教育(交通環境学習)にかかわる学校支援制度との社会科授業連携(第2学年)を行います。

身近な地域である上越は日本で初めて長距離鉄道が開通した地域です。教科書(東京書籍)182頁には「鉄道では、1889年に官営の東海道新幹線が全線開通しました」とあります。これに対して、7か月早く、直江津から上野間の信越線が開通しています。鉄道敷設に情熱を燃やした上越出身の室孝次郎の働きもあり、信越線が開通し、直江津から東京までを1日で行けるようになりました。このような身近な地域の信越線の敷設を学ぶことと開通した地である直江津でSL乗車体験や鉄道に関する体験を行うことで明治の近代化の背景や影響を捉えることができます。

2. 日 時

2021年11月29日(月) 11時00分~11時55分

3. 場 所

直江津D51レールパーク 〒942-0003 新潟県上越市東町1-15 025-520-5551

4. 内 容

・直江津D51レールパークに行き、明治時代の上越の鉄道の歴史について調べるとともにSL乗車体験を行い、当時の人々の気持ちを体験します(本時)。交易財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から見学費用を助成していただいています。

【事後の学習】

- ・明治時代の様子を示した資料や室孝次郎の年表や石碑を見て、なぜ、室孝次郎の功績が讃えられているのかを考えます。直江津・新井間の鉄橋の写真や室の書状や信越鉄道会社の出資者名簿や室孝次郎の業績を確認し、鉄道を開通する際に、政府や市民がどのような意見をもっていたのかを考察します。
- ・明治時代に上越のどこに鉄道を引くかをGoogle Earthを見ながら考え、白地図上に線を引きます。その場所に線を引いた理由と、室孝次郎の立場で政府や市民を説得する言葉を考え、発表します。江戸時代7泊8日もかかっていた上越・東京間が12時間となったこと、石油精製工場の建設、赤倉温泉の観光客の増加、製糸業の隆盛といったことを知り、鉄道の開通が、上越に与えた影響を明治の北国街道や加賀街道の宿場町の様子と比較し、考察します。

5. 会場や授業実践に関する連絡先

上越教育大学附属中学校 仙田健一 TEL 025-523-5313 FAX 025-523-3594

明治の上越は、どこに鉄道を引くべきか ～室孝次郎の信越線敷設から考える～

キーワード：明治時代，室孝次郎，信越線敷設

1 単元について

(1) 単元のねらい

本単元では、信越線敷設の時期、背景、影響に着目し、国民生活の変化を理解し、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、身近な地域の歴史について、主体的に追究しようとすることをねらいとする。

(2) 内容 歴史的分野 C (1) 「近代の日本と世界」 (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成

(3) 単元観

学習指導要領解説社会編の歴史的分野C(1)では「この時期(著者注：明治時代)の国民生活の変化については、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化が見られたこと」に気付くことができるようになることが示されている。その際、「近代化遺産を取り上げるなど、身近な地域を例として変化の様子を具体的に捉えることができるような工夫が望まれる」とある。

身近な地域である上越は日本で初めて長距離鉄道が開通した地域である。教科書(東京書籍)182頁には「鉄道では、1889年に官営の東海道新幹線が全線開通しました」とある。これに対して、7か月早く、直江津から上野間の信越線が開通している。鉄道敷設に情熱を燃やした上越出身の室孝次郎の働きもあり、信越線が開通し、直江津から東京までを1日で行けるようになったのである。このような身近な地域の信越線の敷設を取り上げることで明治の近代化の背景や影響を捉えることができる。

そこで明治時代の信越線の敷設に関わる社会の様子を取り上げる学習の中で【目標設定】と【客観分析】に着目した手立てを講じることで、身近な地域の歴史について主体的に追究しようとする態度を育成することをねらいとする。

2 ねらいに迫るための手立て

- ・身近な地域の歴史について、主体的に追究することができるよう、高田城址公園にある室孝次郎の史跡や歴史博物館の見学する場面を設定する【目標設定】③⑤
- ・近代の社会の変化の様子について、多面的・多角的に考察することができるよう、鉄道をどこに引くべきか、どのように政府や市民を説得するかを考察する活動を位置付ける。【客観分析】①②④

3 評価

評価の観点	評価規準
知識・技能	我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。
思考・判断・表現	近代化がもたらした文化への影響に着目し、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	明治時代の歴史を大観し、信越線の敷設という身近な地域の歴史について、主体的に追究しようとしている。

4 単元の流れ 全 10 時間

次	主な学習活動 (◇)	具体的な手立て (○)	評価
1次 (5)	<p>◇明治の町の様子の絵から江戸時代から変わったところを見付け、衣食住、交通に整理し、発表する。</p> <p>◇明治の日本の外交が海外の制度や法を学ぶためであったことを確認し、征韓論は明治の政策として正しかったのかを議論する。</p> <p>◇ノルマントン号事件の風刺画で船長は何と言っているのかを考察し、日本人の描かれ方を確認する。</p> <p>◇自由民権運動で農民、青年、女性の立場で訴えた意見を考え、士族や政府はどのように動いたのかを考察する。</p> <p>◇内閣制度や大日本帝国憲法の成立を確認し、当時の選挙の様子をシミュレーションによって体験する。</p>	<p>○江戸時代と明治初期の変化を捉えることができるよう、明治の町の様子の絵を提示する。</p> <p>○明治時代の人々の生活の変化が外交による影響を受けていたことを捉えることができるよう、外交政策を議論する活動を位置付ける。</p> <p>○条約改正の必要性を捉えることができるよう、ノルマントン号事件(ビゴの風刺画)を事例として提示する。</p> <p>○減税や男女平等、閥族打破といった要求の違いについて捉えることができるよう、意見の違う立場を設定する。</p> <p>○明治の国民が考えていたことに迫ることができるよう、選挙の投票所の様子をシミュレーションする活動を位置付ける。</p>	<p>思 ・ワークシート</p> <p>知 ・ノート</p> <p>知 ・ノート</p> <p>思 ・ノート</p> <p>思 ・ノート</p>
本時 2次 (5)	<p>◇歴史博物館に行き、明治時代の上越について調べ、まとめる。</p> <p>◇石碑を見て、なぜ、室孝次郎の功績が讃えられているのかを考える。</p> <p>◇室孝次郎の業績を確認し、鉄道を開通する際に、政府や市民がどのような意見をもっていたのかを考察する。</p> <p>◇明治時代に上越のどこに鉄道を引くかを Google Earth を見ながら考え、白地図上に線を引く。その場所に線を引いた理由と、室孝次郎の立場で政府や市民を説得する言葉を考え、発表する。</p> <p>◇鉄道の開通が、上越に与えた影響を明治の北国街道や加賀街道の宿場町の様子と比較し、考察する。</p> <p>◇上越の鉄道建設に関して、背景と影響についてまとめる。</p>	<p>○身近な地域の鉄道敷設に関心をもつことができるよう、日本で最初に長距離鉄道が開通したのはどこかというクイズを提示し、調査を行うように促す。</p> <p>○明治時代の様子と関連付けて捉えることができるよう、当時の様子を示した資料や室孝次郎の年表を提示する。</p> <p>○鉄道建設が行われた場所や室孝次郎の努力を具体的にイメージすることができるよう、直江津・新井間の鉄橋の写真や室の書状や信越鉄道会社の出資者名簿を提示する。</p> <p>○鉄道の開通の影響を捉えることができるよう、江戸時代7泊8日もかかっていた上越・東京間が12時間となったこと、石油精製工場の建設、赤倉温泉の観光客の増加、製糸業の隆盛といったことを取り上げる。</p>	<p>主 ・ワークシート</p> <p>思 ・ワークシート</p> <p>思 ・ワークシート</p> <p>主 ・ノート</p>